



杉並区立高井戸第四小学校

令和4年9月30日

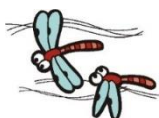
ことばの教室だより

10月号



涼しい風や陽の光、虫の声などに秋の深まりを感じられるようになりました。過ごしやすく、体を動かしたり読書をしたり、様々な活動に適した季節です。新しい日常様式の中でも、経験して学べる機会を大事にし、心身ともに実り多い季節にしたいです。旬を楽しみつつ、季節の変わり目で体調を崩すことのないように気を付けてお過ごしください。

10月



行事予定

11月



4日(火) 都難言協ブロック研究会(午後)
5日(水) 個別指導計画(報告書)発送
17日(月) 区難言協定例研究会(午前)
18日(火) 全難言協事業部会(午後)
25日(火) 都難言協 60 周年記念行事(午後)
27日(木) 高四小就学時健診(午後:通級なし)
29日(土) 高四小土曜授業(共生社会教育1年)

※記載の行事予定は変更
になることがあります。



1日(火) 都難言協ブロック研究会(午後)
7日(月)~18日(金)
在籍学級担任向け授業公開期間
14日(月) 区難言協定例研究会(午前)
15日(火) 都難言協役員研究会(午後)
22日(火)、30日(水) 入級検討部会(午後)
24日(木)~30日(水)

グループ週間・在籍学級訪問週間

※この期間は、基本的に個別指導はありません。

なお、グループ週間の詳細な内容等につきましては、10月17日頃、案内を配布いたしますので、そちらでご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※12月1日(木)~12月7日(水)も在籍学級訪問週間としますが、12月の期間は個別指導と並行して在籍学級訪問を実施します。

☆ことばの検査・相談を受け付けています

お子さんと保護者の方と一緒に来室していただき、ことばの検査や保護者面談等を行います。お子さんのことばの状態の確認や、ご家庭でできることのアドバイス等を行っています。ことばの教室への入級検討を行い、入級が決定し、手続き等が整い次第、随時、通級をスタートします。

今年度の検査・相談の受け付けは、令和4年12月末までの予定です。ことばの面でご心配なことがある方は、在籍学級担任の先生と話し合い、在籍学校を通してお申し込みください。不明な点などある場合には、当教室まで直接ご連絡いただいてもかまいません。

【連絡先: 03-5336-9521 (教室直通)】





読み書きの力はどのように育つのでしょうか？



子供たちは、周囲の人々とことばやことば以外の手段（視線、しぐさ、表情など）によるやりとりをたくさん経験し、その中でことばの力を発達させます。通常、子供は、就学前までに、日本語の音を聞き分け、自分でも使うことができ、基本的な語彙（3000～10000語とも言われている）と文法の知識を身に付け、場面に合わせたことばの使い方ができ始めます。こうした話しことばの発達の土台の上に、読み書きの習得が始まります。



読み書きに必要な力とは？



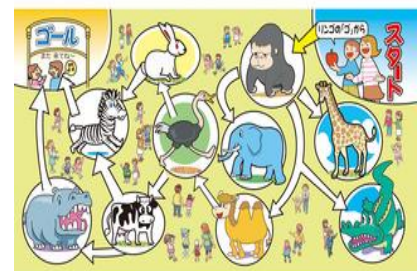
読み書きに必要な力の一つに、「音韻認識」があります。音韻認識とは、①ことばの音の粒に気付き（音の数が分かる、音の順序が分かるなど）、②それらの音の粒を操作できる能力のことです。例えば、「りんご」は3つの音からできていることや始めの音は「り」であることが分かること、ことばを逆から言うことができるなどの能力を意味しています。音韻認識の発達は、4歳後半頃から始まるといわれ、この音韻認識が弱いと、読み書きの習得につまずきやすいことが分かっています。

<音韻認識が弱いと…>

- ・しりとりができない。
- ・「でんわ」→「でんま」、「テレビ」→「テベリ」、「エレベーター」→「エベレーター」など、ことばの中の音が他の音に置き換わったり、入れ替わったりする。
- ・初めて聞いた言葉をすぐに復唱できなかったり、複数の指示を覚えておけなかったりする。
- ・物の名前が覚えにくいなど。

<音韻の力を伸ばすためのことば遊び>

- ・「○」のつくことばさがし（例：「あ」のつくことば→「あり」、「あひる」、「アイス」）
- ・「○」抜きことば（例：「た」抜きことば「たぬき→ぬき」、「たいこ→いこ」）
- ・反対ことば（例：「いか」→「かい」、「くるま」→「まるく」など）
- ・音の数すごろく（サイコロの代わりに絵カードなどをつかって、ことばの音の数だけ進む）
- ・ことばクイズ（例：「かば」の最後に「ん」をつけると？）（文字を並び替えると？「ごいち」→「いちご」など）



・どうぶつのなまえを しりとりしながら ゴールしてください。

引用・参考文献：「ELC 読み書き困難児のための音読・音韻処理能力簡易スクリーニング検査/加藤 醇子 編著」図書文化

「特別支援教育をサポートする読み・書き・計算指導事例集/梅田 真理編著」ナツメ社